

昨年の秋に西日本支部の会員の皆様をお願いいたしました 2019 年～2021 年（年度ではない）の公園の利用者数の集計がまとまりましたので、報告させていただきます。

回答は西日本支部の 6 府県 11 公園から頂きました。ありがとうございました。

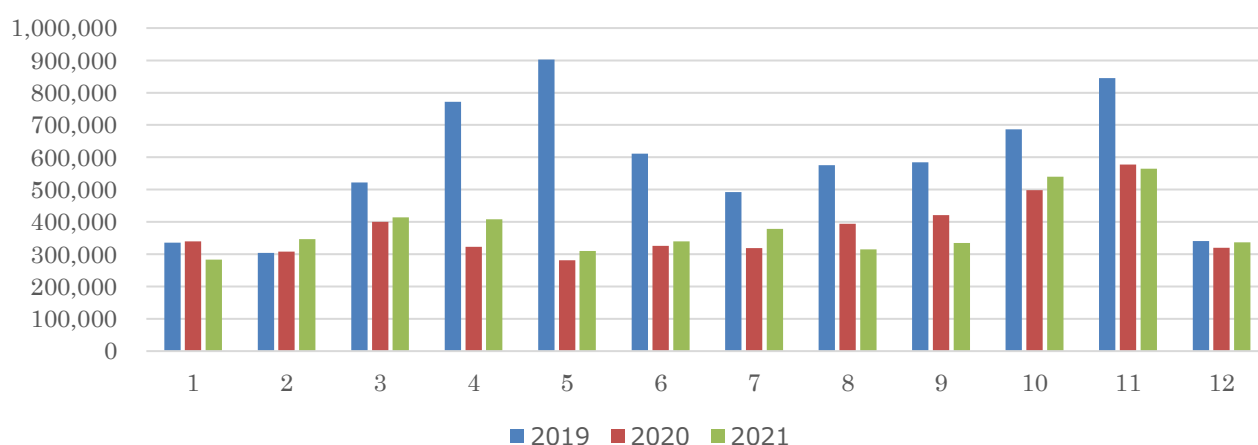
11 公園は全て指定管理が行われている公園ですから、比較的規模の大きい公園ばかりです。

1. 公園別利用者総数の増減比率一覧

公園名	所在地	2019年	2020年	2021年		公園の特徴等	緊急事態宣言時の対応			
			前年比	前年比	前前年比		公園閉鎖	駐車場閉鎖	一部施設利用停止期間	その他
けいはんな記念公園	京都府	100	81.7	74.6	65.0	市街地、静的利用中心	有	有	有	屋内施設の利用停止 イベント中止
明石公園	兵庫県	100	61.1	101.4	61.9	市街地、明石城と運動・文化施設		有	有	屋内施設の利用停止
玉藻公園	香川県	100	36.9	86.4	31.9	市街地、海岸沿い、史跡、有料	有			屋内施設の利用停止 イベント中止
ゆりの里公園	福井県	100	69.5	155.6	108.1	郊外、感染者が少ない地域	有		有	屋内施設の利用停止 イベントの中止
片男波公園	和歌山県	100	56.1	103.2	57.9	海岸沿い		有	有	屋内施設の利用制限
公園 A	兵庫県	100	56.8	110.7	62.9	市街地、登録記念物、有料	有			屋内施設の利用制限 イベント中止
公園 B	奈良県	100	57.3	111.3	63.8	郊外、自家用車利用または公共交通利用		有	有	
公園 C	奈良県	100	67.9	103.8	70.5	公共交通利用（駐車場なし）			有	
鳴尾浜臨海公園南地区	兵庫県	100	71.8	106.8	76.7	海岸沿い、釣り施設			有	釣り施設時短 イベント中止
西猪名公園	兵庫県	100	80.6	104.3	84.0	郊外、スポーツ施設多い		有	有	ウォーターランドの人数制限
公園 D	兵庫県	100	91.3	101.0	92.2	郊外、自家用車利用または公共交通利用	有	有		

2. 各月ごとの利用者数（年間利用者総数のみを把握している 1 公園を除く 10 公園を集計）

調査10公園の来園者総数



3. 年間利用者総数の比率（11 公園）

2020 年の 2019 年に対する比率	65.5
2021 年の 2020 年に対する比率	101.4
2021 年の 2019 年に対する比率	66.3

4. まとめ

① 利用者総数について

- ・ 2020 年、2021 年とも公園利用者（来園者）はコロナの影響で 2019 年（例年・平常年）に比べて大きく減少している。（各月の公園間の差は、所在地の緊急事態宣言や閉園期間の有無による）
- ・ 2021 年は 2020 年に比べ 82.0%の公園で利用者が増えている（回復率：101.4%）
- ・ 2021 年になっても 1 公園を除いて、2019 年レベルまでは回復していない（66.3%）

② 月毎の利用者数について

- ・ 特に行楽シーズンの落ち込みが顕著。（春の行楽シーズンは 2020 年、2021 年ともに緊急事態宣言が出された）。
- ・ 2021 年の 8 月、9 月は 2020 年の同時期よりもかなり減少しているのが目立つ。これは第 5 波の影響である。
- ・ 行楽シーズン以外の月（特に 12 月～2 月の冬季）については、例年（平常年 2019 年）に比べて減少が見られない。11 公園の中には行楽地としての性格が強い公園が含まれていることもあり、レクリエーションや遠出が敬遠され総数が大きく減少した反面、コロナ禍であっても日常の公園利用は大きく変わらず存在したことが読み取れる。
- ・ 今まであまり見かけなかった働き盛りの年齢の利用見られるなど、利用者の層が広がったとの報告もあった。
- ・ 2021 年は 2020 年よりもコロナ感染の波が大きく、緊急事態宣言発出期間（※）も長かったにもかかわらず、3 分の 2 の月で、2020 年よりも 2021 年の方が利用者数は増えているし、また全体として公園利用者の数が増加しているのは、人々が自粛生活に飽きてきたことも一因であろうが、公園のような屋外空間で過ごしたいという欲求が高まっていることも考えられる。

（※）2020 年 45 日間、2021 年 158 日間（兵庫県の場合）

【参考】色合いから増減の概要を感覚的に捉えてみる

(ここでは、赤や緑系の色の濃薄で増減を感覚的に捉え、理解の一助として頂ければと思います)

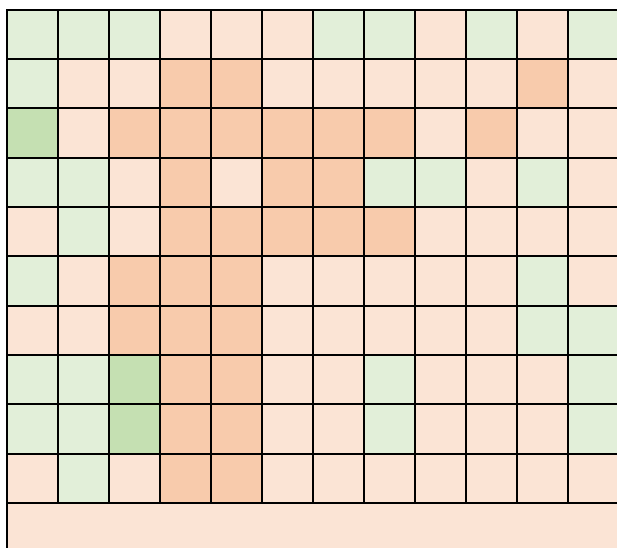
・縦軸 個別公園 (回答日時順)

・横軸 月 (1月～12月)

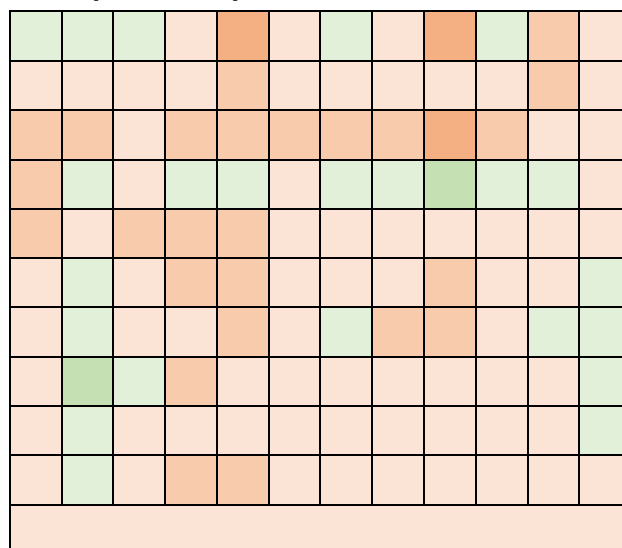
・塗りつぶしの色の凡例

	10%以下になった月	(10分の1以下)
	50%以下になった月	(半分以下だが10分の1以下にはなっていない)
	50～99%の月	(減ってはいるが半分までは減っていない)
	100～199%の月	(増えたが倍まではいっていない)
	200～499%の月	(倍以上増えたが、5倍まではいっていない)
	500%以上に増えた月	(5倍以上、10倍を超えた月もある)

2019年→2020年



2019年→2021年



2020年→2021年

